



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 118 号 (2025/11)
<http://www.ffsaitama.com/>

Turkey Seferihisar クラブ合同渡航(埼玉クラブ岐阜クラブ)

9月24日～30日

AC 原田 桂子

トルコ渡航は埼玉クラブから 11 名、岐阜クラブから 3 名の、14 名での参加でした。イズミール空港へはセフェリヒサルクラブのメンバーが総出で満面の笑顔でお迎えです。空港から街までは約 1 時間。信じられないくらいにきれいなエーゲ海を臨みながらのバスの旅でした。それぞれホストのお宅へ伺い、一休みしてからウェルカムパーティーの会場へと向かいます。海を一望できる素敵なレストランでお喋りしながら、トルコ料理を堪能しました。

翌日からはセフェリヒサルクラブの皆さん用意してくださった盛りだくさんのプログラムの開始です。市長さんにお目にかかるなり、バザールをのぞいたり博物館や美術館を見学。エフェソス遺跡はそれは見事なものでした。イズミール最終日には友好会館を訪問し、現地マスメディアの取材も行われました。

6 日間の滞在中に日本語ガイドを 3 回用意していただいたのも大変に助かりました。最終日前日のフェアウェルパーティーはそれは大盛り上がりでした。私たちも含めて、何人か着物姿も見受けられ、友好モードは最高潮です。

お互いに後ろ髪を引かれる思いで、空港で別れを告げ、後半のオプショナルツアー、イスタンブル＆カッパドキアです。埼玉クラブ 11 名中 3 名はカッパドキアへ 2 泊 3 日のツアーで、残りの 8 名はイスタンブル堪能ツアー。



なかなかの珍道中でしたが、大変に心に残る旅となりました。「と思われる」が私たちの今年の流行語大賞です。色々な面で AAC の高堂さん、丸山さんにもちろんのこと、参加者の皆様に大変に感謝です！



日程

24 September 2025

*Welcome Party

25 September

2025 (Seferihisar Day)

*Meeting with Seferihisar Mayor

*Seferihisar-Sığacık Castle

*Lunch in Sığacık (Çakoz Restaurant)

*Balçova Cable Car

26 September 2025 (Ephesus Day)

*Virgin Mary * Selçuk Musuem

* Ephesus Ancient City * Lunch in Selçuk

* Şirince Village Tour

27 September 2025 (Urla Day)

Visiting Ancient Olive Oil Manufactory Klazomenai

*Urla City History and Archives museum

* Visiting Malgaca Bazaar, Urla Art Street

*Lunch in Urla (Traditional Family House Restaurant) *Urla Arkas Art Center

28 September 2025 (Free Day)

29 September 2025 (izmir day)

*Clock Tower

* Kemeraltı Bazaar, Hisarönü, Kızlar Ağası Tour.

*Lunch in Kemeraltı *Japan izmir Intercultural Friendship Association Visiting

*Passing from Konak to Karşıyaka with ferry.

*Farewell Party (Armi Restaurant-iskele-Urla)

30 September 2025 *Transfer to Airport

一緒にトルコのトリコに

西村 純枝



談がお互いにあり、トルコは親日家が多く…と聞いていての初トルコ渡航。



エフェソスにて
ガイドと

気に入ったのは、イスタンブル、イズミールと伸ばすのを Istanbul, Izmir と発音することで一緒にトルコ通になったような気がしたことだ。気に入ったことがまだある。ステイした Seferihisar の辺りは、Slow City と呼ばれ時間もゆったり人ものんびり？ 私も一気に脱力し現地人と化した気がした。そりやそうだろう。エーゲ海のブルーと心地よい風、昔習った地中海性気候なのだ。オリーブ並木、いちじくやザクロ、オリーブオイルのティスティングがあるのだから。

古代ローマ帝国が街(エフェソス)を築いたのも頷

今回の渡航は、前半の Seferihisar クラブでの交流と後半のイスタンブルでの滞在とでまったく印象の異なるものとなった。



まず前半だが、われわれのホストは、Hulmi さんと Tulin さんであり、それぞれ Biologist と医学系の企業で働いてきたとのインテリであるが、きわめて話し好きで気さくな人だった。この二人との出会いは、私のトルコへの認識を変えてしまった。トルコ訪問前の認識は、やはり周辺の中東諸国とは異なるとはいっても、イスラム圏の中にはあり、もっと宗教色の強い国と考えていた。しかし、一週間滞在して、二人は一日五回のお祈りをすることもなく、お酒もそれなりに嗜んでいた。特にトルコでも、イスタンブルやイズミールなど大都市や周辺部では、それが普通になってきているとの事だった。

トルコと一口に言
ってもやはり違う顔
があるのでな～。トル
コと日本には、教
科書に載るような美

ける。

ホストのご夫婦はほとんどの時間を私達に同行してくださり、手作りを日常としている生活ぶりも学びが多かった。噂にたがわずトルコ料理は美味で華やかな歴史の味がした。

朝はエーゲ海が見え、マンダリン、ブーゲンビリアの見えるテラスでトルコのチャイをいただきながらの Turkish Breakfast。彼らは去年松山クラブに滞在。それなのに再来年にはまた日本にいくよと。WhatsApp を求められ始



ベランダから
エーゲ海を望む

めた。同じおもてなしは到底できないがあの笑顔に再度会えるかと思うと嬉しい！！

今回は原田 AC、高堂、丸山のトロイカ態勢に甘えた極楽極楽の旅だった。もちろんいい仲間が一緒だったことは言うまでもない。

西村 介延

また夕食には、友人のトルコ楽器(日本の琵琶のような)奏者もゲストとして招待してくれ、にぎやかに手作りのトルコ食事を楽しんだ。

後半はイスタンブルに移動し、4泊5日間をこの古都だけに滞在した。参加者の皆さんへも勧めていたが、事前に塩野七生の‘コンスタンティノーブルの陥落’を読んでいたが、東ローマ帝国が陥落し、オスマン・トルコ帝国へ移る当時の古都が目の前に展開し素晴らしいだった。トプカプ宮殿、アヤソフィア、ブルーモスク、ガラタ塔、ボスポラス海峡とそこでのクルージングと5日間でも廻りきれないほどであった。これは、E-PASS(イスタンブル市内の共通バスのようなもの)を利用しての散策だが、AC 原田さんに感謝・感謝の滞在だった。

トルコ セフェリヒサルクラブ交流に参加して

宇田 祐子



意義な素晴らしい交流でした。

私のホストはサミとユクセル。70代のステキなご夫婦。渡航前に、写真と共に楽しみに待っているとのメールを受け取っていたので、実際にお会いした時は遠い親戚に会いに行ったような不思議な感覚で、本当に暖かく迎え入れてくれ有難かったです。

それからの毎日は「ギュナイトン・オハヨー」で始まり、(仕事や定年・出産や子育て・子供や孫のこと等)いろいろな話題で盛り上がり、美味しいトルコ料理をいただき、楽しいことばかり…。そしてそれは美しいエーゲ海の風景と共にあり、贅沢な時間を過ごさせてもらいました。

今回初めて FF の渡航交流に参加させていただきました。それも私にとって初めての国、トルコ！驚きや発見がいっぱいの有意義な素晴らしい交流でした。

トルコについては知らない事ばかりで、案内してもらった場所や歴史、背景、どれもが考えさせられることも多く学びの多いものでした。

興味のあるトルコ語は文字もユニークだし、日本語にはない音もあるし、少しずつですがわかっていく事もあって面白かったです。いろいろな言語に似た言い方や言葉があるのは歴史を物語っているのだなあと思うと、ますます興味がわいてきて、トルコについてもっともっと知りたくなりました。

また2年後に、と、再会を約束しました。次に会った時に話したいこともたくさんあります。次に繋がる FF の交流、再会が楽しみです。

今回の交流でお世話になった全ての方に感謝です。ありがとうございました。



トルコ渡航

濱田 聖子



トルコは、ヨーロッパとアジアが出会う、歴史の重みがある国です。事前にコンスタンチノープルの陥落を読んだせいか、とても興味深かったです。SEFERIHISAR クラブのメンバーはとても、親切で、歓迎してくれました、

私のホストのハティージャは、海の見えるリゾートに住んでいて、美しい海を見ながら、毎日、食事をしていろいろな話をしました。彼女は料理が得意でナスの詰め物や、必ず出してくれるサラダ、チーズに蜂蜜をかけて食べるのがおいしかったです。バスツワーでローマ時代の遺跡や、奇跡の教会、イズミール唯一のメトロにも乗り、港のレストランで、大きな焼いたスズキのまるごとを食べました。バザールで小物やアクセサリーを見たり、トルココーヒーを飲みながらおしゃべりしたり時間はあっという間に過ぎました。

フリーデイは海岸に散歩して小高い丘のカフェでコーヒーを飲みサンクスディナーに行きました。フェアウエルパーティはレストランで開催されましたが、バンドもいて、ベリーダンサーも出演して私達も踊り、気づくと 11 時近くにもなっていました。

名残惜しい空港の別れの後オプションのイスタンブル観光が始まりました。ボスボラス海峡のクルーズを三回もして、アヤソフィアのビザンチンモザイクのすばらしさ、トプカプ宮殿の広大さ、巨大な炊事場の建物は当時の人々の喧騒が聞こえるようでした。ブルーモスクの青いタイルの美しさ、お天気も良くて、一回だけレストランの食事中に激しい雨が降ったくらいです。



AC の原田さん AAC の高堂さん丸山さんのおかげで本当に素晴らしい思い出深い旅行になりました。

トルコ渡航に参加して

丸山 由喜雄

今回の渡航では、トルコの Seferihisar クラブとの 1 週間の交流と、イスタンブルでの 4 日間の旅を体験しました。

私のホストは ERCAN さんと SELMA さんご夫妻で、息子の OZAN さんもテレワークで在宅されており、ご家族皆さんがとてもフレンドリーで、楽しく心地よい時間を過ごすことができました。

トルコはイスラム教の国と聞いていたため、出発前はさまざまなことに不安を感じていましたが、ホストが自家製のワインを作っていると知り、その心配はすぐに消えました。 **ケルスス図書館**



ホスト宅のすぐそばには共同所有のプールがあり、家で水着に着替えてそのまま向かい、久しぶりに楽し^く泳ぐことができました。交流期間中、Seferihisar クラブの皆さんのが用意してくださいたったプログラムは、どれも楽しく興味深いものでした。特に印象に残ったのは、エフェソスの遺跡です。紀元前から栄えた都市であり、約 2000 年前に建てられたケルスス図書館

は、その壮麗さに圧倒されるほどで、非常に感動しました。フリーディでは、約 100 年前に建設され、現在も使用されている歴史的なエレベーターと潜水艦の見学をしました。エレベーターの上からはイズミールの街と海を一望でき、素晴らしい景色を楽しめました。



歴史的エレベーターとイズミール市街

潜水艦の内部に入るのは初めての経験で、とても興味深かったです。内部は狭く、移動は少し大変でしたが、それもまた貴重な体験でした。

フェアウェルパーティでは、ベリーダンスがあり、その後は両クラブの皆さんと一緒にダンスを楽しみ、大いに盛り上りました。とても楽しいひとときでした。

イスタンブルでは 4 泊 5 日滞在し、歴史と文化に触れることができました。まだ訪れていない場所も多く、ぜひ再び訪れたいと思っています。

最後に、この素晴らしい経験を提供してくださった Seferihisar クラブ、そして埼玉クラブの皆様に、心より感謝申し上げます。

NREL-ヌレル

Host ヌレルにメールをしたのは出発 1 週間前。彼女はお母様のお世話ずっと兄の家に居て、私こそごめんなさいとのメールが届き、ほっとしてお土産を詰めてイズミールの家に向かった。



エーゲ海を望む夜景が素晴らしい過ぎるアパートメントの 5F。テラスと云うかベランダと言うのか、大きくて高さ 2m 以上はある折り畳み式で色のガラス窓は圧巻だった。彼女は FF のメンバーとして 20 年近く。とても落ち着きがあり鋭い眼をしていた。高校で仏語教師していたと。昨年 FF 愛媛との交換で私の知り合いの



ヒロミさんがホームホストだったと、話題は盛り上りました。

セフェリヒサルクラブはご夫婦のメンバーが多く、男性軍の活躍が雰囲気を盛り上げ、しおらしい女性達ですが夫操縦法がなかなかのもので、「How to control your husband」の本を出すべきよ、と大笑いでしたね。

このクラブは受け入れに慣れていて、大きな貸切バスを利用して、各ホストの家の辺りで拾い、目的地に向かう。合理的で良いなあと感心しました。余り無理せず、美しい景色、穏やかな人々、猫も犬も優しい顔立ち。これも全てを自国で貰える豊かさがあるからだろうとつくづく感じた。心地よい交換だった。

2025年 Seferihisar,Turkey 渡航の思い出

高堂 綾



今回は、長い～長い渡航に思えました。ホストファミリーは今まで最も若いご夫妻で毎食心づくしの手作りのご馳走が並びます。感激です。一緒にステイしたのは渡航経験が初めての岐阜の宮部さん。彼女にFFの楽しさを感じてい

ただこうと、私の知っているFFの知恵を伝えました。FFを好きになってくださるように。

トルコクラブのプログラムは、最高です。

古代の歴史が毎日のプログラムに組み込まれ、過ごしていくうちに歴史が身近に感ぜられるようになり



ました。世界の広さ、深さ、丸山さんの栄を読んだお陰かもしれません。感謝です。

ただの観光では味わえないFF渡航の素晴らしさがよくわかりました。だから渡航は止められない。何かが学べる、何かを感じられる。この年になんでも人としてまた一つ豊かに笑顔になる栄養源をもらいました。トルコの人の笑顔、幼い子供も年老いた方も笑顔を忘れていません。自給率100%、深い歴史の誇りがあるからでしょうか？楽しかったトルコ渡航は、また私を成長させてくれました。素敵な旅になりました。

渡航の皆様ありがとうございます。
素敵なトルコにまた行きたいですね！！

やっと会計報告が済みこれで渡航が終わりました。



FF初めての渡航

川崎 啓子



イズミール空港は広く、集合場のバゲージクレームに辿り着くまで思ったより時間がかった。全員揃い、預入荷物を取り、いざ、ゲートを出ようとしたら時、私のスマホがなった。誰？と慌てて、WhatsAppを開いた。

「Hello Keiko! Welcome to Turkey!」と、私のホストSamiさんからビデオ電話。これが彼と私の初めての出会い。彼の優しそうな声に今までの不安が一気に吹き飛んだ。彼の後ろには迎えに来ていたFFセルフエヒサルメンバーの「Welcome to Turkey!」の声とホスト達の顔と顔、私達も「Hello! Hello!」で応える。ゲートを出て、ハグの温かい歓迎を受け、ホームステイが順調にスタート。

私のホストSami & Yuksel 御夫婦はイズミールから車で約1時間の海辺の町にお住まい。庭には家庭菜園があり、朝・夕食に出るサラダには菜園で取れたハーブが必ずのっていた。きゅうり・トマト・青唐辛子ににんにく、レモンの絞り汁・オリーブ油のシンプルなサラダだったが、新鮮で美味しいかった。私達が何にでも醤油をかけるように、トルコではオリーブ油を



かけるようだ。Yukselさんは料理上手で色々作り方を教えてくれた。ヨーグルト、ナスとにんにくを混ぜたペーストが気に入り、日本に戻ってきて作ってみたが、いまいち。Yukselさんの味を思い出し、再度挑戦しよう。

素敵な御夫婦の所にステイできて幸せでした。

私のホストファミリー

岩澤 由美子



私のホストの Ati と Guner は ホスピタリティにあふれ日本にも興味津々。電車に乗った時には「日本の若者は年寄りに席を譲るの？」とかミニスカートの娘さんを見ては「日本ではどう？」とか健康の話、食の話、日々の習慣的な話等々、いっぱい話をした。

明朗快活な Ati の趣味はハンドクラフト。迷わず手作り品をあれこれ持参した。すぐに「世界に一つだけ」と私の作った茶碗でチャイを飲んでくれた。私の仕草を見て持ち方を聞かれたので、右手で持って左手を添えると elegant よと答えた。翌日他のメンバーにも教えていた。Ati すばらしい！

毎日フェリーに乗った。それは私の好きな時間。3人横並びにすわり広がる景色(夕陽の美しさは格別)を見ながら穏やかな時間が流れた。もう一つの好きな時間はガラス張りの開放感いっぱいのテラスでの食事。丸テーブルいっぱいのトルコの料理と Guner が入れてくれるチャイ。

遠く日本から来てくれた Ambassadorへの愛がいっぱい。Guner は英語を話さない。Ati も私もそこそこだ。互いを思いやる気持ちがあれば心は通じるということを実感できました日々でした。



クラブの皆さんとの温かい思いやりに、同行した皆さんに Teseckur ederim ありがとうございました。

トルコ イズミールのホームステイ

稻垣 洋子

海に面した高い崖っぷちに白い建物が並ぶ高級住宅街の一角が、我ホスト、Tayfun さんと超美人の Tahire さんが住む家でした。家の中には、大きな食卓、座り心地の良い椅子やソファ、個室には各々お風呂とシャワールームが付く、明るい広々とした西洋的な様式でした。



朝食には、たっぷりな生野菜のサラダ、蒸す、炒める、焼く、煮込みの野菜料理にチーズとサーモンなど栄養バランスよく、味付けも塩分控えめな、すすんだ食生活でした。昼食と夕食は、カフェやレストラン、パーティーなどで、彩りも鮮やか、品数も多い豪華なブッフェスタイルのお食事も出ました。



お茶の習慣も日本の我が家と同じく、朝ご飯から夕食まで、度々、薄いさわやかな味のトルコティーが出ました。私も日本から持参した玉露でお返しして、「おいしい」と、喜んでいただきました。

私のお気に入りのトルコティーは、今でも毎朝、欠かさず飲んでいます。

セフェリフィサーク ラブのスケジュールは、先ずは、Mayor に謁見するところから始まりました。それから私達は由緒ある寺院や遺跡、博物館、バザール、オリーブオイル工場など訪れて、この地方の伝統や文化、歴史を楽しく豊かに学ぶことができました。パーティーでは、会長、AC さんに誘われて、あの独特なリズムやビートを持つ音楽に合わせて全員が踊りました。

イズミールの人々の明るい笑顔、暖かい心、やさしさは最高でした。

また、いつかお会いしましょう！



岐阜クラブ 3名も一緒に

岩田 恭子

今回のホームステイは今まで一度も経験したことのない事が一つありました。それは、ホストと一度もメール交換が無かったと言うことです。もちろん 私は2度、一緒にステイする長野さんもメールしています。私達とこまめに連絡を取つて頂いていた埼玉の方も心配してくださって、トルコのHCにも連絡を取つてもらいましたが、結局一度も返信はありませんでした。ホストに関する何の予備知識も無いまま、不安の中私達は出発したのでした。

結果、私達のホストはとても良い人で 英語も上手。ホームステイは想像を超えて素晴らしいものでした。お互いがうちとけた二日目の時に私達のメールをみましたか？と質問してみました。答えはNO。PCはほとんど見ないそうです。メールのやり取りもホームステイの楽しみの一つと思っていた私には 少し？感がありますね。

富部 尚美

初めてのホームステイ、片言の英語しか話せない私が大丈夫だろうか？でも、埼玉の方が一緒に楽しみ半分、不安半分の出発でした。しかし、その不安もすぐに消え去りました。

ホストのご夫婦は歌や踊りが大好きで、料理しながら歌ったり、時間があると 2人で踊ったり、明るく優しい方々でした。奥様は料理が大好きで、作り方を知りたい私にスパイスを見せて教えてくださいました。片言の英語でも心が通じる、本当に楽しい日々でした。旅行とは違う、ホームステイの意味を体験した気がしました。皆様、ありがとうございました。

オプショナルツアーも楽しんで

イスタンブール



イスタンブール旧市街(ガラタ塔から)



ところで 埼玉クラブの連絡の緻密さや、細部に渡る説明などは とても勉強になりました。

今回、何から何までお世話になり、感謝しかありません。埼玉の皆様、ありがとうございました。



長野 加代子

トルコのセフェリヒサルクラブは、エーゲ海に面していて、高台にあるホストの家からは海が見え、海の向こうのギリシャへはフェリーで 25 分で行けるそうです。特にセフェリヒサルクラブがあるイズミール地方はヨーロッパの歴史や文化が感じられる素敵な街並みでした。ホストのインジライをはじめトルコの皆さんには本当に良くしていただき、食事もどれも美味しい、魚あり、お肉(ポークはなし)ありで、お野菜も盛りだくさん、特にトマトが甘くて美味しかったです。

皆さんとご一緒に出来て、とても楽しい渡航になり、終わってからも旅日記や沢山の写真を共有していただき、本当にありがとうございました。

カッパドキア



大自然を満喫！

国際ふれあいフェア

10月12日(日)浦和駅前広場にて、さいたま観光国際協会主催による国際ふれあいフェアが開催されました。FF 埼玉クラブは受入れ・渡航の写真を展示し、来場者にFFのPRをしました。この中から4名の方が会員の集いに参加されました。



さいたま市長にPR

会員の集い

講演会・ミニバザー・トルコ渡航報告会

11月9日(日)北浦和カルタスホールに、会員30名、ゲスト10名の計40名のたくさんの方が集い、恒例になった「会員の集い」の1日を楽しく有意義に過ごしました。

講演会 山岡時生氏

海外での生活と国際貿易に関する仕事(ジュネーブ、ブラッセル、プリンストン)



山岡氏の柔らかく軽快な語り口に引き込まれ、時に笑い時に驚き、楽しく充実した2時間でした。

海外での住宅事情や食べ物といった日常生活から、ご専門の関税(特にトランプ関税)に至るまで、幅広いお話を伺いました。その中から特に印象に残った幾つかを紹介します。アパートでは夜間の騒音禁止。夜10時から朝7時までは水を流す事ができない。さて、どう対処したか?「夜のシャワーを朝シャンに変えた」で、一同大爆笑でした。

ブラッセルでは、ほぼ毎週末に日本からの出張者をフランス料理のフルコースで歓迎。つい食べ過ぎて、その後何年もフランス料理を食べられない体に。思い出すだけでも気分が悪くなる期間が長く続いたとか。「お気の毒?」「羨ましい?」最後に伺ったトランプ関税のお話は、私には難しくて、ここで報告できない事をお許しください。増田 信枝



トルコ渡航報告会

AAC 高堂さんの会計報告、AAC 丸山さんのプログラム紹介、AC 原田さんからも同じく細かなプログラム紹介後、渡航者からホストとの交流やトルコについての感想を語ってもらいました。豊富な映像と共にトルコの魅力が存分に伝わった報告会でした。

ミニバザー



皆さまのご協力で14,658円の売り上げがありました。会への寄付といたします。
ありがとうございました。

新入会員紹介 木村敏光さん



5月の国際友好フェア会場でFFに是非入りたいと申し込まれました。旅行が趣味で、来年の渡航が楽しみだそうです。

12月14日(日) 午前:理事会 午後:第1回ミネソタ・デモイン受け入れ準備委員会
会場:午前午後とも シノ大宮 5F 講座室1

1月18日(日) 午前:第2回ミネソタ・デモイン受け入れ準備委員会 シノ大宮 7F 講座室3
午後:理事会 シノ大宮 5F 学習室

1月25日(日) 10:00~ 2026年度総会 北浦和カルタスホール

発行:ザ・フレンドシップ・フォース・オブ埼玉

編集:広報部 浜 堀切 浜島 石橋 原田史 田中 川田

写真提供:丸山由喜雄 HP担当:堀切

発行日:2025年11月26日